

平成30年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
桃太郎チャレンジキャンプ

## 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

小学校中学年という人間関係の大きな発達段階にある子どもたちが、自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい集団生活を築こうとする態度や、自ら困難なことにもチャレンジしようとする心情を育む。

## 2. 事業の概要

### （1）期日

平成30年8月19日（日）～8月25日（土）6泊7日

### （2）参加者

#### ① 募集対象・人数

小学校3・4年生 24人（応募総数72人）

#### ② 参加人数

23人（うち1名体調不良により途中帰宅）

（うち香川県1人、京都府1人、佐賀県1人）

### （3）講師等

ボランティア11人

看護師 1人

### （4）企画・運営のポイント

- ① 一貫性を重視した内容の6泊7日の移動キャンプを実施するので、参加者及びボランティアについては、必ず全日程参加できることを条件に募集を行った。
- ② 参加申込書に志望動機を書かせることにより、各々目標をもってキャンプに臨むようにした。
- ③ ボランティア対象の2泊3日の事前研修を1か月前に実施した。研修内容は、実地踏査とリスクマネジメント、子供の支援について考えることを中心に構成し、実際の活動を想定して行った。
- ④ 子供たちの自立を目指す視点から、「自分のことは自分です」「何事にもチャレンジする」「みんなのことを考えて行動する」ことを目標として掲げた。  
また、毎日の振り返りでは、班旗をビーイングとして活用し、個々の振り返りにも生かした。
- ⑤ グループ編成は、異学年の協力という観点から3年3人・4年3人の男女6人の4グループとし、班付リーダーを2人とした。また、県外や各市町村からの参加者が分散するよう構成した。
- ⑥ ロングウォークのリスク管理を行うため、看護師協会と連携して看護師1人の派遣を依頼し、ロングウォークの3日間に対応していただいた。

- ⑦ フェイスブックに毎日の活動の様子を掲載して情報発信するとともに、開会式で保護者にも紹介して我が子のがんばりを確認できるようにした。
- ⑧ 最終日前夜のキャンドルのつどいの中で、1週間過ごしたボランティアが企画してレクリエーションを実施した。
- ⑨ 閉会式では、子供たちが保護者へ向けて「1週間の成長を自慢しよう」という思いで発表を行った。そして、保護者と子供たちがキャンプの内容を共有することができるようにスライドショーの上映を行った。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

8/19 (日)	受付時間10:00	受付	開会式	仲間づくり ゲームⅠ	昼食	仲間づくり ゲームⅡ	テント設営	野外炊事		振返り	シャワー	就寝
8/20 (月)	起床 清掃 朝のつどい	野外 炊事	課題解決オリエンテーリング 昼食(弁当)				野外炊事	ドラム缶風呂	振返り	就寝		
8/21 (火)	起床 清掃 朝のつどい	野外 炊事	片付け バス 移動	ロングウォーク①吉備津彦神社～吉備津神社～ ノートルダム女子大学一宮校舎 昼食(弁当)			調理体験	入浴	振返り	就寝		
8/22 (水)	起床 清掃 準備	調理 体験	バス 移動	ロングウォーク②吉備津神社～砂川公園 昼食(弁当)			野外炊事	シャワー	振返り	就寝		
8/23 (木)	起床 清掃 準備	野外 炊事	ロングウォーク③砂川公園～鬼ノ城 昼食(弁当)				野外炊事	シャワー	振返り	就寝		
8/24 (金)	起床 清掃 準備	朝食	片付け	バス移動	野外炊事 バウムクーヘン作り		休憩	夕食 (レストラン)	準備	キャンドルの つどい	入浴	就寝
8/25 (土)	起床 清掃 朝のつどい	朝食	振返り		閉 会 式	解散時間12:30						

#### (2) 活動の状況



【仲間づくりゲーム】



【テント設営】



【野外炊事】



【課題解決OL】



【ロングウォーク①吉備津神社】



【ロングウォーク②砂川公園に向かって】



【ロングウォーク③鬼ノ城】



【バウムクーヘン作り】



【キャンドルのつどい】



【閉会式(集合写真)】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

満足：100%

##### (2) 参加者の声

- ① 料理で毎日おいしくできて良かった。
- ② ロングウォークでみんなと協力して歩くことができて良かった。
- ③ この1週間すべてが楽しかった。
- ④ 友達をたくさん作ることができて楽しかった。
- ⑤ みんなのことを考えて行動できるようになった。

### (3) 成果

- ① 日々の活動を重ねる中で、班内で言い合いなども起きたが、次第に自分たちで解決しようとする姿が見られた。そのたびに、以前に比べて団結力が増し、次の活動に生かすことができていた。
- ② ロングウォークの3日間については、真夏の炎天下での活動となるため、看護師をスタッフに加えたことで、安心して実施することができた。
- ③ 桃太郎伝説を子供たちへ伝えるために、紙芝居を作成し、ボランティアから読み聞かせを行った。これにより、ロングウォークの各ポイントでは、話と関連付けながら理解させることができた。
- ④ 台風接近のために、1日早く砂川公園を撤収したことにより、台風の被害にあうことなく無事に実施することができた。

### (4) 今後の課題

- ① 災害に備えた対応を事前に想定するとともに、情報収集に努めるようにする。
- ② 小学生3年・4年を対象とした場合、様々な活動に予想以上に時間がかかることを考慮し、次年度はさらに余裕をもたせた時間設定が必要である。

担当：企画指導専門職付 貞方 貴衣